



第42回定期大会 発言より②



業務課題について

- ▼「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」は目的が分からず無駄に感じる。多くの社員が不満に思っているのに良い会社になるのか疑問である。
- ▼安全無事故表彰の廃止は大きい。安全は自然発生するわけではない。安全に対する対価がなくなることは納得できない。
- ▼能力昇給になると、昇給に目がいき事故隠しが発生するのではないかと。人命を失ってはならない。
- ▼昇給について何をベースで判断されるのか分からず、不安である。
- ▼乗務労働の特殊性は大切だと思う。今回の制度で乗務労働の根幹を支えるものがなくなる。乗務員が相応の賃金をもらってはいけないのか。
- ▼新たな人賃の地域手当について、栃木や茨城が低い。会社の社宅の15年縛りがあって茨城に家を買ったのと言われている。何か会社に対応を求められないものか。育児時短行路について、育児との両立と言っているが実態に見合っていない。
- ▼新しい人事賃金制度で都市手当がなくなるのは格差がありすぎる。
- ▼JR バス関東では、高速バス統括本部ができる。東京のみで点呼をやる仕組みになる。範囲が相当広いので本当管理できるのか不安だ。
- ▼鉄道での人賃の改革の流れが次はバスに来る、区分1～6をどのように評価するのか。以前勤めていた会社は売り上げが分かったので評価が分かる。正しい評価が成り立つのかと思う。安全の評価項目を入れてほしい。
- ▼「勇翔2034」はすごく立派なことを言っているが、土台がしっかりしていないと簡単に崩れてしまうと感じる。
- ▼ネクタイの着用は現場長の判断で省略となっているが、メトロはもっと進んでいる、昭和の会社、変革の言葉だけが先行しているように感じる。
- ▼部会運動について、バスの発言でも安全軽視を感じた、是正させなくてはならないと思う。
- ▼訓練センターの訓練は2年に1回程度の参加を予定しているが、守られていない。
- ▼安全問題の現地踏査も地本主催で行ってほしい。三河島、東中野、羽越線、尼崎など。
- ▼積立年金を担当している。東京地本から最近大口加入があり、感謝している。増口も増えている。その他にもがん保険、自動車保険、積立年金も扱っているため、秋募集で加入をお願いしたい。